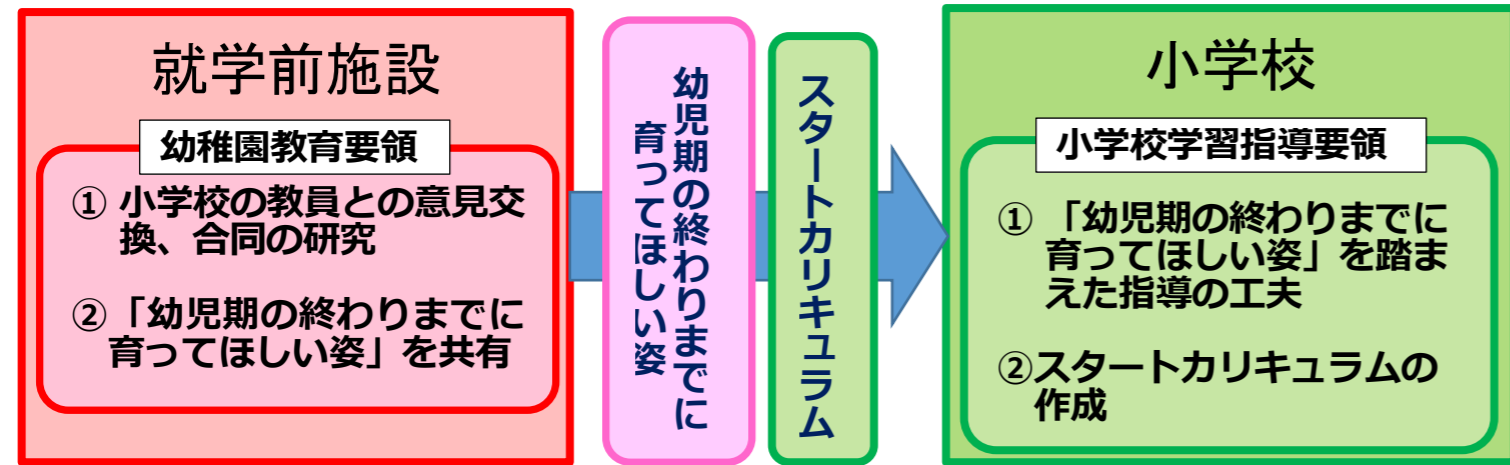


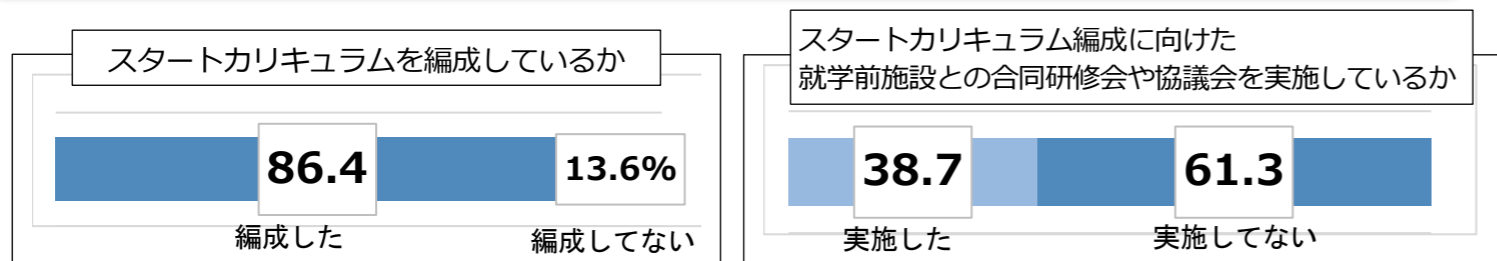
I 研究の目的

1 就学前教育と小学校教育の円滑な接続に関わる現状と課題

就学前教育と小学校教育の円滑な接続に向けてのイメージ図



スタートカリキュラム編成・実施に向けた研修会・協議会の実施状況について（小学校等への調査）



令和3年度 教育課程の編成・実施状況調査（東京都教育委員会） 〈令和2年度の実施状況〔公立幼稚園・小学校・中学校等〕〉

多くの小学校においてスタートカリキュラムを編成しているが、就学前施設との合同研修会や協議会の実施が十分ではなく、就学前施設からの助言等を反映させたスタートカリキュラムになっていない。

2 研究開発の視点

就学前教育と小学校教育の円滑な接続に関わる現状と課題を踏まえ、円滑な接続を推進するための視点を以下のように考えた。

- 各就学前施設での5歳児の発達や学びについて小学校の教員と共有できるようにすること。
- 生活や教育方法の違い、各就学前施設での学びや育ちを反映したスタートカリキュラムを編成・実施できるようにすること。

そのために、就学前施設での5歳の学びが伝わるようなシートの開発及び学びと育ちをつなぐシートの活用方法についての説明資料の作成を行う。

II 円滑な接続に向けた資料の開発に向けて

1 開発する資料

(1) 学びと育ちをつなぐシート

就学前施設において5歳児がどのようなことを経験して育ってきたか、保育者の援助や環境の工夫をまとめたシートである。就学前施設は、5歳児の経験や小学校につながる学びや集団生活における幼児の育ちについて就学先の小学校に伝える際に、本シートを活用することができる。小学校は、本シートの内容から、新入学児童が経験してきたこと、集団での育ち、具体的な遊びや活動を知ることが可能になる。また、環境の構成に関する写真やイラストを「補助資料」として添付することで、就学前施設における取組をより具体的に示すことができる。

(2) 学びと育ちをつなぐシートの活用例

就学前施設の保育者が作成した学びと育ちをつなぐシートを基に、小学校教員と引継ぎを行い、小学校が子供の発達や学びの連続性を踏まえた教育の実践につながるスタートカリキュラムを編成する一連の流れを示した例のことである。

(3) 就学前施設と小学校との接続カレンダー

就学前施設と小学校との円滑な接続に向けて、1年間を見通した接続のモデル例である。就学前施設と小学校においてよりよい連携や交流、引継ぎ等、見通しをもって進める際に、本カレンダーを活用することができる。

2 開発した資料の特徴について

(1) 「学びと育ちをつなぐシート」について

就学前施設での学びや育ちを小学校に伝えるに当たり、学びと育ちをつなぐシートは、「就学前教育カリキュラム改訂版（平成30年3月）」に掲載している、「乳幼児期の子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点」を基に、幼児が経験してきたことや教員の援助・環境の工夫について記入できるようにした。

学びと育ちをつなぐシート

		○幼児が経験してきたこと	●援助、環境の工夫	遊びや活動
学 び の 芽	思考 興味・関心 好奇心 探究心 など	記入欄		

(2) 「学びと育ちをつなぐシート」活用例について

各小学校において、子供の発達や学びの連続性を踏まえた教育の実践につながる児童の実態に即したスタートカリキュラムを編成するには、様式を示すだけではなく、就学前施設での学びや育ちが活かされたスタートカリキュラムを編成する流れを示す必要があると考えた。

次ページⅢに、就学前施設での子供の学びや育ちを、小学校へどのようにつなげればよいのかを示した活用例を掲載している。

Ⅲ 学びと育ちをつなぐシートの活用例

就学前施設

1 「学びと育ちをつなぐシート」には、幼児の経験、保育者の指導や環境の構成を記入する。

学びと育ちをつなぐシート

【〇〇立〇〇〇園 〇年〇月〇日】

5歳児 友達と力を合わせて生活を進めていけるように

生きる力の基礎と子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点	〇幼児が経験してきたこと ●援助、環境の工夫	遊びや活動	協議メモ
思考 興味・関心 好奇心	〇好きな遊び(自由遊び)で自分なりに試して作ることや、保育者や友達の作ったものに刺激を受けて作ることを楽しんできた。繰り返し遊ぶ中で、作り方や素材を自ら選んで考えたり、物の性質や法則性に気付いたりしながら遊びを深めていった。 ●一人一人が自分なりの作り方(方法、素材、場所等)で作る姿	・ゴム動力を使って舟作り、傾斜を使ってビー玉コース作り等	・好きな遊びでどのような遊びを楽しんでいたか。
基本的な生活習慣 生活リズム 安全 健康 自立 など	〇登園時や降園時の集まりの中で、一日の流れや予定を決めていった。絵表示を見ながら片付けの時間や集まりの時間に気付き行動した。 ●週の前日や一日の前日、時計の表示などを掲示し、幼児が分かり自ら動くことができるように環境を整えた。	・一日の予定やカレンダーの表示、時計の表示を見る。	・(一日の時間の流れ) ・(食育指導について、偏食への対応方法)
運動	〇ルールのある遊びを通して、伸び伸びと体を動かし、いろいろな友達と共に遊ぶ楽しさを味わった。	・ドッジボール、リレー、三すくみ鬼	・(遊びや生活に即して考え)

2 「補助資料」には「学びと育ちをつなぐシート」の内容に関する具体的な手だてや写真を添付する。

補助資料

幼児の経験、保育者の指導や環境構成について、更に追加して伝えたい内容について記入する。環境(園生活に関わる表示、製作や絵本コーナーなど)の写真がある場合には添付する。

1 生活について

・1日の生活の見通し、片付け、衣服の着脱、食育、安全を意識した生活 など



引継ぎ

3 保育者は、「学びと育ちをつなぐシート」と「補助資料」を用いて、就学前施設での活動を伝える。
小学校は、就学前施設からの話を受け、保育者に質問をしながら協議メモ欄に記入する。



保育者

幼児が見通しをもって生活したり、自分の遊びに取り組んだりしていることを、小学校の先生に伝えることができました。
小学校の先生は、就学前施設での指導や環境の構成について興味をもって質問していただいたので、有意義な引継ぎ会議になりました。

就学前施設では、一日の予定を絵や文字で表示していました。また、登園時の集まりの際に、保育者が一日の予定を伝えることで、幼児はその日の活動に期待をもち、意欲的に参加していることが分かりました。
入学したばかりの1年生には就学前施設での取組を取り入れようと思いました。



小学校教員

小学校

4 引継ぎの内容を基に、スタートカリキュラム編成・実施の留意事項を記入する。「学習活動の工夫」、「学習環境の工夫」、「掲示の仕方」等を検討し留意事項としてまとめる。

〇〇小学校スタートカリキュラム編成・実施の留意事項

予想される児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> 小学生になった喜びと期待をもち、意欲的に過ごす姿や新しい生活や環境に不安をもつ姿も見られる。 先生の顔と名前を知ったり、靴箱や教室の場所、所持品を始末する場所を知ったりすることで、安心して自分から行おうとする。 就学前施設で経験した手遊び、絵本、活動などを行うことにより、緊張がほぐれる様子が見られる。 環境の変化により、困ったことがあっても言い出せずにいることがある。
スタートカリキュラムで大切にすること	<ul style="list-style-type: none"> 自らの思いや願いの実現に向け、活動をゆとりとした時間の中で行えるようにする。 入学当初の1週間は、朝から2校時までで【安心をつくる時間】とし、安心して過ごせるような活動を取り入れるなど、配慮する。 児童の発達の特性を踏まえ10～15分程度の短い時間の活動を取り入れる。 幼児期に親しんできた手遊びや歌、読み聞かせなど、一日の始まりを楽しい気持ちで迎えられるような学習活動を取り入れる。 生活科を中心に各科的・関連的な指導の充実 児童の興味・関心から、児童の意識の流れに沿った学習計画を立てる。 つながりのある他教科等のねらいを考えた各科的・関連的に進める単元を構想する。 学習環境を整える工夫(机の配置、掲示物の活用など)を行う。
	<p>4 安心して自ら学びを広げようとする学習環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安心して自己を発揮できる環境 見通しをもって生活できるように、1日の時間の流れや朝の支度の手順などを掲示する。 自分で選択して活動できるように、教室内やオープンスペースに遊びコーナーを設置する。 ② 主体的に学びに向かうことができる環境 学習のきっかけが生まれるようにするために、学習に活用できる資料や本を常設する。

5 留意事項の内容をスタートカリキュラムに反映させる。

〇〇小学校スタートカリキュラム 第1週

今週のねらい	先生や友達と仲良くなる。				
	一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築いていくことをねらった活動(安心をつくる時間)	各科・関連的な指導による生活科を中心とした学習	教科等を中心とした学習		
	入学式(6日)	1日目(7日)	2日目(8日)	3日目(9日)	4日目(12日)
行事	始業式・入学式	行事	行事	行事	1年給食給 行事
朝	朝の準備 ・ランドセルを置く ・好きな遊びをする 絵本、折り紙、かるた、自由帳、あやとり	朝 ・好きな遊びをする 絵本、折り紙、かるた、自由帳、あやとり	朝 ・好きな遊びをする 絵本、折り紙、かるた、自由帳、あやとり	朝 ・好きな遊びをする 絵本、折り紙、かるた、自由帳、あやとり	朝 ・好きな遊びをする 絵本、折り紙、かるた、自由帳、あやとり
学	今日の流れ	今日の流れ	今日の流れ	今日の流れ	今日の流れ
学	なかよく遊ぼう はじめて	なかよく遊ぼう ・歌って踊ろう	なかよく遊ぼう ・手遊び	なかよく遊ぼう ・手遊び	なかよく遊ぼう ・手遊び

Ⅳ 成果

- 「学びと育ちをつなぐシート」の作成
各就学前施設で5歳児が経験してきたことについて項目を設けて記入できるようにしたことで、項目ごとに教員の援助、環境の構成を具体的に伝えられるシートを作成することができた。
- 就学前施設での学びや育ちを小学校へつなぐ流れの明確化
「学びと育ちをつなぐシート」を基に引継ぎ会議を行うことから、小学校が就学前施設での学びや育ちを取り入れたスタートカリキュラムを編成・実施する方法例を示すことができた。

「就学前教育」委員名簿

荒川区立南千住第二幼稚園	園長	立石 晃子	板橋区立志村小学校	主幹教諭	松井 由佳
三鷹市立羽沢小学校	主幹教諭	藤波 大樹	品川区立二葉幼稚園	主任教諭	内山 絵美
新宿区立鶴巻幼稚園	主任教諭	横田 潤子	台東区立清島幼稚園	主任教諭	松井 景子
江東区立ちどり幼稚園	主任教諭	夏井 史子	江戸川区立船堀幼稚園	主任教諭	橋本 宏美

担当 東京都教育庁指導部義務教育指導課 指導主事 吉田 元